

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 鹿岡市立川東小学校・高田中学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.9
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		3.2	0.15					3.2
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 室内騒音レベル		3.0	1.00					
2 騒音対策								
1.2 遮音		3.5	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.30					
2 界壁遮音性能	Dr=40の遮音性能を有する界壁仕様を採用。	4.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr=55の遮音性能を有する界床仕様を採用。	4.0	0.20					
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		3.3	0.35					3.3
2.1 室温制御		3.6	0.50					
1 室温	冬期22℃、夏期25℃を実現	4.0	0.60					
2 室温対策								
3 外皮性能		3.0	0.40					
4 ゾーン別制御性								
5 室温制御								
6 室温制御								
7 室温制御								
8 室温制御								
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.9	0.25					3.9
3.1 昼光利用		4.6	0.30					
1 昼光率	昼光率≧2.5%を確保している。	5.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備	トップライトを設けている。	4.0	0.40					
3.2 グレア対策		4.0	0.30					
1 グレア対策								
2 昼光制御	ブラインドを設けている。	4.0	1.00					
3 グレア対策								
3.3 照度		4.0	0.15					
1 照度	平均照度500lxを実現している。	3.0	0.25					
3.4 照明制御		4.3	0.25					4.3
4 空気環境		5.0	0.50					
4.1 発生源対策		5.0	1.00					
1 化学汚染物質	内装材は全て告示対象外☆☆☆☆製品を採用。							
2 アスベスト対策								
3 鉛対策								
4 ヒコバネ対策								
4.2 換気		4.0	0.30					
1 換気量	建築基準法を満たす換気量の1.4倍以上を確保している。	5.0	0.33					
2 自然換気性能	床面積の1/15以上の換気有効開口面積を確保している。	4.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4 結露対策								
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					4.0
1 機能性		4.6	0.40					4.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の誘導基準を満たしている。	4.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30					
1 広さ感・景観	教室の天井高さが3.2m以上である。	5.0	0.50					
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画	インテリア・照明等の計画を事前に検討し設計した。	5.0	0.50					
1.3 維持管理		5.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	汚れのつきにくい仕様・おさまりを採用している。	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	メンテナンスに配慮した計画とした。	5.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31					3.8
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
1 耐震性	地震荷重の重要度係数を25%割増して設計。	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	等級2に該当する。	4.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	21年以上30年未満の耐用年数を有する。	4.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	11年以上20年未満の耐用年数を有する。	4.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	材料にステンレスを使用し、長寿命化を計っている。	5.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3種のうち2種にC以上を使用している。	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.2	0.19			
1	空調・換気設備	信頼性の高い設備とする為、防振吊等を行っている。	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	信頼性の高い設備とする為、汚水の一時的留機能等を確保している。	5.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震ガラスAとしている。	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	信頼性の高い設備とする為、浸水対策を行っている。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31			
1	階高のゆとり	階高3.7~3.9m未満としている。	4.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率が0.1~0.3未満である。	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.8	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	構造部材を備えることなく修繕・更新ができる。	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	更新・修繕が容易に行える計画としている。	5.0	0.22			
6	バックアップスペース	バックアップ設備の為のスペースを計画的に確保している。	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			4.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺地域や景観に対して充実した取り組みを行っている。	5.0	0.40			5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30			4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性・アメニティに対して充実した取り組みを行っている。	5.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							4.0
LRI エネルギー			-	0.40			4.0
1 建物の熱負荷抑制		ポイント法で140点以上を獲得している。	4.0	0.30			4.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20			4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	有効な採光・換気・換気ボイドを設けている。	4.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルを採用。利用量≧15MJ/m ² ・年である。	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=21.4である。	4.3	0.30			4.3
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)		ERR=21.4%	4.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	運用・維持・保全の基本方針を計画している。	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			4.5
1 水資源保護			3.8	0.15			3.8
1.1	節水	節水コマ・省水型機器を設けている。	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用をしている。	4.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.7	0.63			4.7
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用	既存の建築躯体を再利用している。	5.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	5.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント(ノールセメント)・ビニル床シート・タイルカーペット	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上がりが容易に分別・再利用できるユニット部材を用いている。	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22			4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	対象物質を含有しない材料が4つ以上ある。	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0・GWP=Tの断熱材を採用している。	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		換算スコア3.4である。	3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			3.3	0.33			3.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	充分な量の駐車・駐輪場・渋滞防止を考慮した出入口の計画を	5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制	分別回収・減量化等をする為の取り組みを行っている。	5.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.6	0.33			3.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-			
1	騒音		-	-			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照障害の抑制			3.2	0.67			
1	風害の抑制	行っている。	3.0	0.60			
2	砂塵の抑制		4.0	0.20			
3	日照障害の抑制		3.0	0.20			
3.3 光害の抑制			4.4	0.33			
1	屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たしている。広告物照明は設けていない。	5.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			